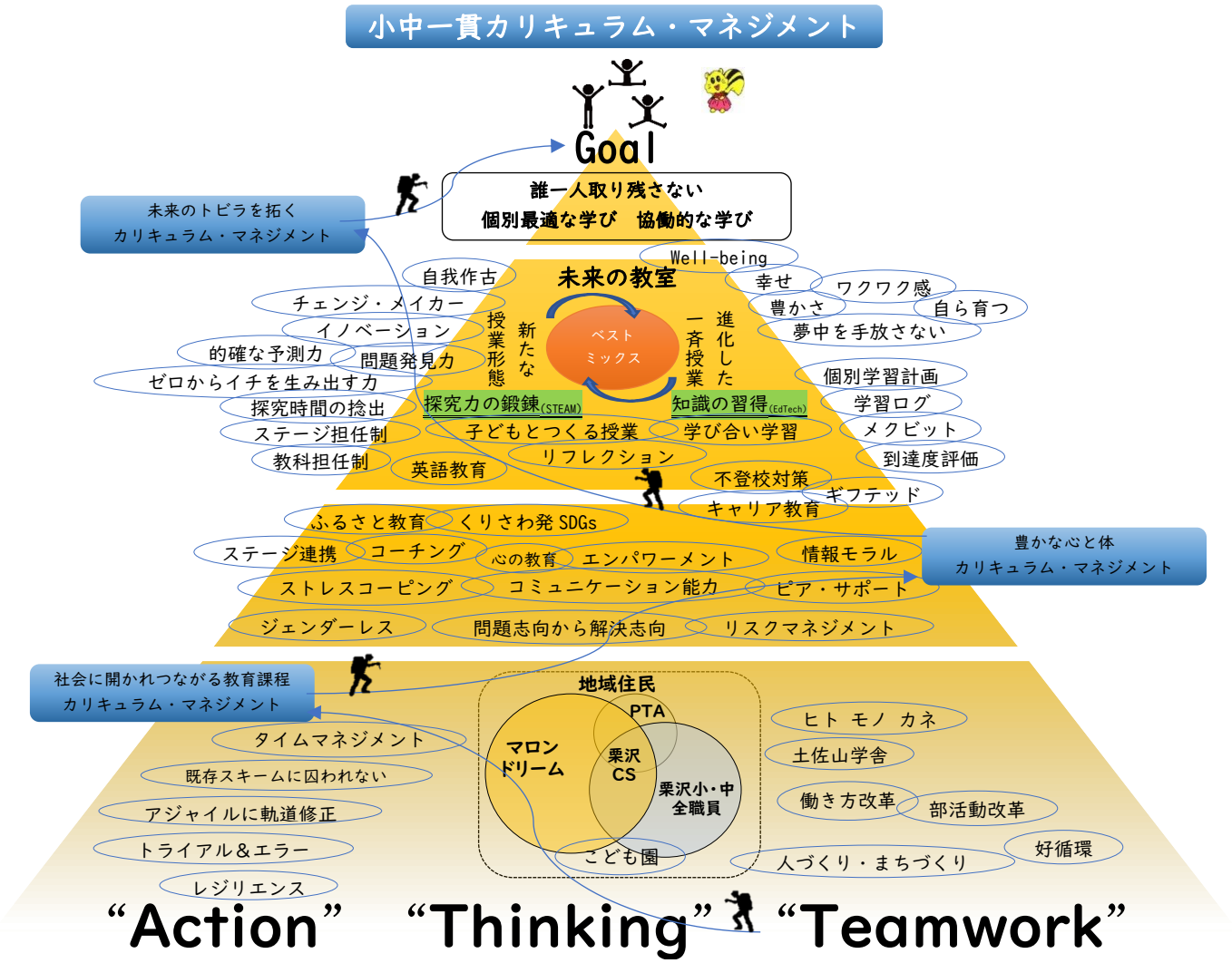
令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

Ⅰ　令和５年度　学校経営

義務教育９か年を縦につなげる５年間の「導入期」を終え、いよいよ小中一貫教育実施の「充実期」を迎えようとしている今、岩見沢市が目指す「人づくりとまちづくり」の一体的な構築に向け、学校・家庭・地域で向かうべきゴールを再確認し取組を充実させていくことが必要である。

世の中は、人生 100 年時代を迎え、未来を見通しにくい状況になりつつある。それ故にこれからを生き抜く子どもたちには、**未来を創る当事者（チェンジメイカー）**となり、「幸せ」と「豊かさ」を追求し、好きなことに夢中になれる教育環境の中で、伸び伸びと成長し続けていってもらいたい。

私たちは、次代を担う子どもたちの未来を見据え、子どもたち一人一人が「**多様な幸せ（well-being）**」を体感することが可能となる教育環境と、Sosiety5.0 の社会構造の中で、多様性を重視したイノベーションを起こすことができる資質・能力を育む教育課程を構築していかなければならない。具体的には、2020 年代を通じて実現していく学校教育の在り方を示した**「令和の日本型学校教育」**と**「人生 100 年時代の社会人基礎力」**の概念と内容を、子どもや地域の実態と照らし合わせながら十分に理解し、数十年後の世界で通用する力を育む**「未来の教室」**から**「誰一人取り残さない、個別最適な学びと、協働的な学び」**を実現する学校をめざしていく。



≪中・長期的な基本理念≫　令和元年度制定

・すべての子どもが「栗沢で学んでよかった」

・すべての保護者が「栗沢で育ててよかった」

・すべての住民が　「栗沢で生きてよかった」

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

≪めざす子ども像≫令和５年度改定

・ふるさと栗沢を大切にする心を基盤に、自らのキャリア選択に応じた考えを膨らませ、グローバルな視点で仲間と共に新たなことに挑戦していく子どもたち

≪めざす学校像≫令和５年度改定

・学習機能、社会的機能、福祉的機能をバランスよく併せ持ち、多様な人々とつながる学校

・すべての子どもたちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの往還を実現させる学校

・未来社会を支える有為な人材を輩出していく学校（社会人基礎力の育成）

≪めざす教職員像≫令和５年度改定

・「めざす子ども像」の実現に向け、探究力鍛錬を図る授業改革や STEAM 教育の推進に向けた新しい知識・技能を学び続け、子どもたち一人一人の学びを最大限に引き出しながら、主体的に学校経営に参画する教職員

・「未来の学校の創造」というミッションに向け、個々の強みでつながり補完し合う教職員

【重点教育目標】

上記の基本理念やめざす姿を達成させるための具体的な指標として次のことを重点教育目標とする。

Action　前に踏み出す力
主体性　実行力　働きかけ

Thinking　考え抜く力
課題発見力　計画力　創造力

Teamwork　チームで働く力
発信力　傾聴力　柔軟性　規律性　状況把握力

	Action　前に踏み出す力			Thinking　考え抜く力			Teamwork　チームで働く力				
	主体性	実行力	働きかけ	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	規律性	状況把握力
	物事に進んで取り組む力	目標を設定して確実に行動する力	仲間と協働しながら解決していこうとする力	状況を分析し目標や課題を明らかにする力	問題解決に向けたプロセスを明らかにして準備する力	新しい価値を生み出そうとする力	自分の意見をわかりやすく丁寧に伝える力	相手の意見を丁寧に心で聴こうとする力	意見の違いや立場の違いを理解する力	学校のルールや様々な約束事を守ろうとする力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
1st ステージ（１年～４年）	◎			◎			◎			◎	◎
2nd ステージ（５年～７年）		◎			◎			◎		◎	◎
3rd ステージ（８年～９年）			◎			◎			◎	◎	◎

各ステージでの重点（◎の箇所）を達成させる「めざすステージ目標」は、

1st ステージ　１年～４年

明るく元気で笑顔が絶えない子どもたち

＊学びの基礎・基本の確実な習得
＊学習規律の徹底
＊明日につながる学習生活習慣の確立

2nd ステージ　５年～７年

強い意志で正しく行動する子どもたち

＊習得した知識・技能を活かした主体的能力の育成
＊課題解決・課題発見に適する学習スキルの習得
＊有益な生き方を選択する社会性・人間性の育成

3rd ステージ　８年～９年

新たなことに挑戦しチームで働く子どもたち

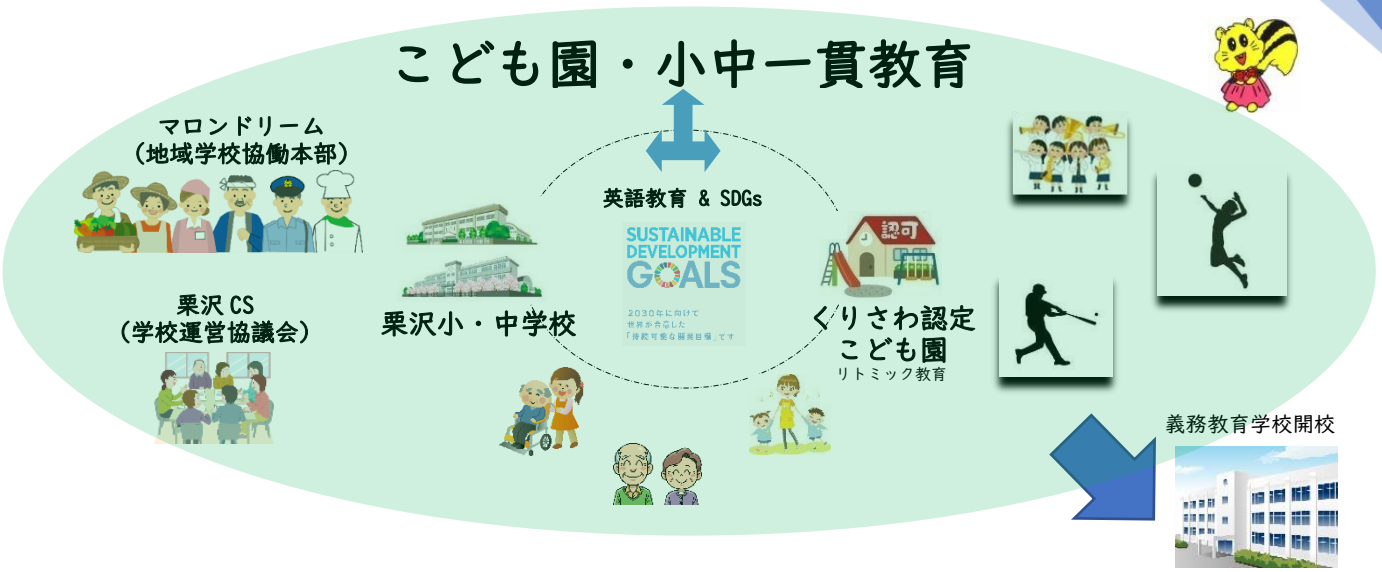
＊夢や希望の実現に向け、探究力を鍛錬する能力の育成
＊他者と協働しながら新たなものを創造する力の育成
＊世界の一員として、人とのつながりを大切にする心の育成

学習生活習慣確立期　→　主体的能力育成期　→　探究力鍛錬期

ステージ担任制　／　ステージ担任制→教科担任制　／　教科担任制

＊ステージ担任制…学級担任制を基本とするが、ステージ内の先生方との交流を通して多種多様な能力を培っていく機会を創出する。
取組内容は、ステージ内で協議して決める。（例…時期を限定した担任入替、ホームルームのみ担任入替、ステージ内教科担任制など）

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針



未来のトビラを拓く　カリキュラム・マネジメント

→確かな学力部

一人一人の子どもに「できる（知識・技能の習得）→わかる→使え（思考力・判断力・表現力）る（探究力鍛錬）→役に立つ」を体感させ、ICT を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の授業改革→栗沢スタイル（「子どもと創る授業」を通して）

～誰一人取り残さない、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

豊かな心と体　カリキュラム・マネジメント

→豊かな心と体部

＊強い意志で正しく行動する心を基盤に持ち、新しいことに果敢に挑戦し、思いやりの心と協働の精神を大切にする子どもの育成

＊心身ともに逞しい子どもを育成するとともに、生命を尊び、健康で安全な学校生活を送ることができる持続可能で危機に強い教育環境づくりの推進

社会に開かれつながる教育課程　カリキュラム・マネジメント

→小中協働部

0 歳から 15 歳までの一貫した教育を推進するため、栗沢 CS（学校運営協議会）マロンドリーム（地域学校協働本部）を基軸とした、こども園小中一貫教育の推進

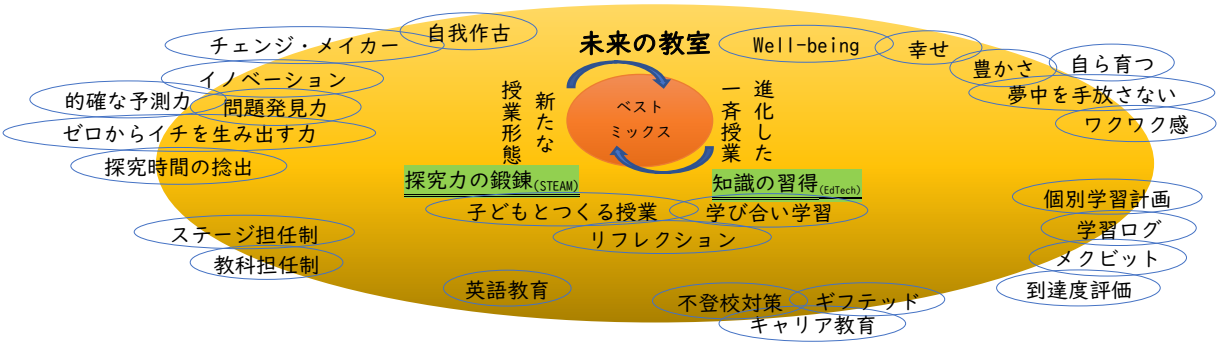
～経営参画意識の醸成～

栗沢っ子が目を輝かせ生き生きと活動し、自分の夢の実現に向けて努力するためには、使命感と情熱に溢れた教師がチームとなって教育活動を推進することが重要である。特に、新たなミッションである「未来の学校の創造」には、栗沢小・中学校の教職員全員が研究と修養を重ね、失敗を恐れずに果敢に取り組む姿が不可欠となる。

新たな歴史と文化、そして保護者・地域に絶対的に信頼される持続可能な未来の学校づくりに共に一歩を踏み出していこうではありませんか。

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

Ⅱ　未来のトビラを拓く　カリキュラム・マネジメント



≪客観的数値から見取れる子どもの実態≫

NRT 検査から　数値は偏差値　赤は前年度より低下　青は前年度より上昇

R5 現在 ↓	国語			算数・数学			社会			理科			英語		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
2 年	－	－		－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－
3 年	－	52.5		－	53.8		－	－	－	－	－	－	－	－	－
4 年	43.7	47.6		46.3	47.6		－	－	－	－	－	－	－	－	－
5 年	47.2	46.1		44.9	45.6		－	－	－	－	－	－	－	－	－
6 年	48.4	53.6		45.5	52.6		－	－	－	－	－	－	－	－	－
7 年	48.3	51.0		43.9	50.3		－	－		－	－		－	－	
8 年	45.9	46.4		44.7	45.9		－	46.7		－	45.7		－	44.6	
9 年	53.0	52.5		49.8	49.2		48.5	52.2		51.2	50.7		－	48.9	

全国学力調査　全国平均を 100 とした数値

	国語			算数・数学			理科	英語
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R4	R5
6 年	75.7	102.1		91.2	94.9		99.5	－
9 年	102.2	104.3		82.2	112.8		119.7	

【重点目標】　NRT…全教科偏差値＋３以上　　全国学力…全教科全国平均以上

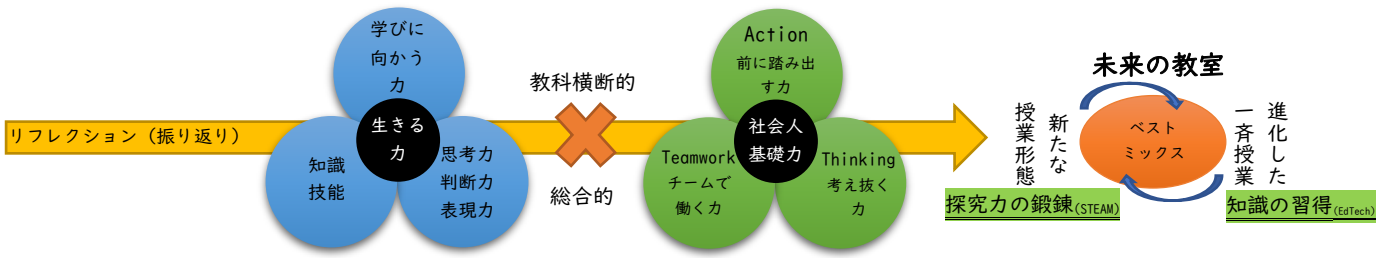
一人一人の子どもに「でき（知識・技能の習得）る→わかる→使（思考力・判断力・表現力）え（探究力鍛錬）る →役に立つ」を体感させ、ICT を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の授業改革→栗沢スタイル（「子どもと創る授業」「学び合い学習」を通して）

～誰一人取り残さない、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

1st　ステージ…9 か年の学習の基盤となる基礎・基本の定着を徹底し、子どもたちの学習意欲を喚起させる課題の提示等の工夫、教科横断的に学習内容を深化させていくステージ

2nd　ステージ…各教科で習得した「見方・考え方」を基盤としながら、課題解決や課題発見に適した様々な学習スキルやコミュニケーション能力（**システム＆デザイン思考力**）などを身に付け、主体的・対話的な学習活動を通して探究力を鍛錬していくステージ

3rd　ステージ…7 年間で培った人間性・社会性を基盤に、次なるステージでどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかのロードマップを描き、共に学んだ仲間と共に力強く一歩を踏み出すステージ



令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

１　知識及び技能

（１）子どもたちの個性や特徴、そして興味関心や学習の到達度は一人一人異なっていることを前提に、一律・一斉・一方向授業から脱却し、**ICT（EdTech）**＊1などを活用し、**学修の個別最適化**を図る。

①個別学習計画に沿った学習ログを記録し、到達度評価へ移行。

②学習不振による不登校の子どもや「落ちこぼれ」（低学力層）・「浮きこぼれ」（ギフテッド）＊2に合わせた個別最適な学習に取り組む学習方法（AI ドリル）や機会（朝学習、放課後、長期休業学習等）を創る。

③タブレット等を持ち帰らせ、次時の授業で扱う学習（反転学習）や、反復練習が必要となる知識・技能の習得に取り組ませる。（家庭学習習慣の定着）

（２）各種テストの積極的な活用

①漢字検定、英語検定、算数・数学検定等の活用

＊1 EdTech…Education（教育）と Technology（技術）を組み合わせた造語で、テクノロジーを用いて教育を支援する仕組みやサービス

＊2 ギフテッド…先天的に平均よりも顕著に高い能力を持っている人、またはその能力を示す。

２　思考力・判断力・表現力

（１）教科学習や総合的な学習の時間、特別活動を含めたカリキュラム・マネジメントを通じ、一人一人のワクワクする感覚を呼び覚まし、教科知識や専門知識を習得する（＝「知る」）ことと、探究・プロジェクト型学習の中で多種多様な知識をつなぎ合わせ、創造的・論理的に思考し、未知の課題やその解決策を見出す（＝「創る」）こととが循環する、学びの「**STEAM**」＊3化を実現させる。

①知識をインプットさせる一律・一斉・一方向型の授業形式を見直し、探究力の鍛錬に費やす新たな学びの時間を創出するため、９か年の各教科等の全体指導計画を見直す。

②総合的な学習の時間などで取り組むふるさと学習（ローカル）、SDGs（グローバル）などの社会的課題と各教科学習の関連を強化し、実社会で活かされる課題解決を通して探究力の鍛錬を図り、学ぶことのワクワク感が持続するカリキュラム・マネジメントの構築。

＊3 STEAM…Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）の５つの単語の頭文字を組み合わせた概念。技術革新が進み人工知能の影響で世の中が大きく変化する中、これら５つの分野の学習を通して、子どもを今後の IT 社会に順応した競争力のある人材に育てていくための教育方針。理数系高校でよく聞かれる SSH（スーパーサイエンススクール）と同じ。

３　学びに向かう力

（１）各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら課題解決や課題発見に適した学習スキルを習得するとともに、コミュニケーション能力の手法を活かした協働的な態度を身に付けさせ、主体的・対話的な学習活動を通して知識の習得と探究力の鍛錬の好循環を生み出していく力。

①子ども一人一人の居場所があり人間性溢れる学級づくりを基盤とし、ステージづくり→学校づくりにつなげる。（ピア・サポート）

②生徒指導の機能を活かし、発達段階に応じた仲間との協働に不可欠な情動・ストレス対処の力（ストレスコーピング）、効果的な**コミュニケーション能力**を身に付けさせるとともに、課題や事象の構造をつかむ**システム思考**と、対象の丁寧な観察をもとに様々な分野の知識を編み込み解決策を生み出す**デザイン思考**を融合させた思考力を開発していく。（**システムデザイン・マネジメント**）

『未来の教室５原則』1st ステージ
☆　大きなこえで、はなしましょう。
☆　目と耳と心で、ききましょう。
☆　いつもえがおで、なかよくしよう。
☆　こまった人をたすけよう。
☆　じかんを、まもろう。

『未来の教室５原則』2nd ＆ 3rd ステージ
☆　自分の考えを丁寧に伝える。
☆　仲間との対話から学ぶ。
☆　感謝される「喜び体験」を繰り返す。well-being
☆　自分よりも仲間、仲間よりも社会。well-being
☆　タイムマネジメント

Well-being

（２）子どもが主体的に学びを進める学習スタイル

①**学び合い学習**…「個別最適な学習」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学習」に還元させる学習スタイルに取り組ませ、学習意欲の向上を図る。（全ステージ）

・子どもたちが自立的に学びを進める学習機会を設定し、協働的な学び合いができる有用感・満足感を味わわせる。（５教科各５時間程度）

・各ステージ内で、子ども同士の授業研究を通して、授業スキル（コミュニケーションスキル）を習得する。（年３回程度）

②**単元マイプラン学習**…一単元分の学習内容を、自分にとって最適だと考える学習計画のもと、「個別最適な学習」スタイルで取り組ませ、自らの計画力・判断力・責任力を醸成する。（全ステージ）

・学習カードに沿って自らのタイミングで進めていく学習。

・時数や教科の組み合わせ等は 1st ステージは学級担任が、2nd&3rd ステージは教科担任及び学級担任が策定する。

③**フリースタイルプロジェクト**…上記①②のどのように学ぶかという学習方法の一歩先として、何を学ぶか、つまり学習内容までも委ね、教科横断的且つ総合的な学習として「学習の個性化」をねらいとする学習方法。（2nd &3rd ステージ）

・総合的な学習の時間として取り組み、今年度は年間 10 時間程度に取り組ませる。

４　教科等の枠を超えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力

（１）ICT 機器の有効活用

①主体的に情報などを収集する場面

②多面的・多角的に情報を吟味していく場面（クリティカル・シンキング）

③統計的な分析に基づき課題解決・課題発見をしていく場面

④家庭におけるタブレット端末の有効活用

（２）コミュニケーション能力の開発

①「未来の教室５原則」を意識させた教育活動

②ピア・サポート授業（2nd ＆ 3rd ）

③情動・ストレス対処力を養う取組

④システムデザイン・マネジメントの取組

（３）キャリア教育の充実

①キャリア・パスポートの見直し

②人と共に社会を生きる力（人間関係形成、社会形成能力）

③自分を知り、律する力（自己理解、自己管理能力）

④課題を見つけ、解決する力（課題対応能力）
⑤夢や希望を創り上げる力（キャリアプランニング能力）

Ⅲ　豊かな心と体カリキュラム・マネジメント

～豊かな心の育成～

≪客観的数値から見取れる子どもの実態≫R4 年度全国学力・学習状況調査　児童生徒質問紙から

１：そう思う　２：どちらかと言えばそう思う　３：どちらかと言えばそう思わない　４：思わない

自分にはよいところがあると思いますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	41.7	45.8	12.5	0	自尊感情については、全国平均とほぼ同じです。「未来の教室５原則」のうちの、『感謝される「喜び体験」を繰り返す』を大切にしていきます。
	全国平均	39.4	39.9	13.5	7.2	
9 年生	自　校	37.8	40.5	13.5	8.1	
	全国平均	36	42.5	14.9	6.6	

将来の夢や目標を持っていますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	66.7	12.5	16.7	4.2	全国平均とほぼ同じです。9 か年のキャリア教育の充実を図り、15 歳の春には大きく世界に羽ばたく人材に育て上げます。
	全国平均	60.4	19.4	10.3	9.9	
9 年生	自　校	51.4	40.5	5.4	2.7	
	全国平均	39.8	46.7	9.9	3.4	

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	33.3	62.5	4.2	0	責任を持って様々なことに取り組む姿勢が身に付いています。子どもに寄り添う指導を通して、子どもたちの良いところを誉め、より達成感を味わわせていきます。
	全国平均	38.8	48.4	11.2	1.6	
9 年生	自　校	48.6	29.7	21.6	0	
	全国平均	36.8	49.8	11.8	1.6	

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	8.3	45.8	41.7	4.2	重点教育目標のうちの「Action」が 6 年生で不足しています。学校は失敗が許される場所であることを伝え、様々なことにチャレンジさせていきます。
	全国平均	27.6	44.9	22.4	5.1	
9 年生	自　校	21.6	54.1	16.2	8.1	
	全国平均	21.4	45.7	27.6	5.3	

人が困っているときは、進んで助けていますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	41.7	50.0	8.3	0	重点教育目標のうちの「Teamwork」を大切にした行動が取られています。協働的な学びの機会を増やし、共に切磋琢磨していける環境を創り上げていきます。
	全国平均	44.9	44.0	9.3	1.7	
9 年生	自　校	48.6	37.8	8.1	5.4	
	全国平均	40.6	47.8	10	1.6	

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	95.8	4.2	0	0	2nd & 3rd で実施している「いじめ撲滅集会」の目的を明確にさせながら、いじめを「しない・させない・許さない」取組を充実させていきます。
	全国平均	83.9	12.9	2.2	0.9	
9 年生	自　校	73	16.2	5.4	5.4	
	全国平均	82.6	13.8	2.5	1.1	

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

		1	2	3	4	コメント
6 年生	自　校	70.8	20.8	4.2	4.2	感謝される「喜び体験」の機会を増やしていきます。
	全国平均	75.1	20.0	3.4	1.5	
9 年生	自　校	59.5	35.1	2.7	2.7	
	全国平均	73.5	21.5	3.4	1.5	

【重点目標】

強い意志で正しく行動する心を基盤に持ち、新しいことに果敢に挑戦し、
思いやりの心と協働の精神を大切にする子どもの育成

1st ステージ…　基本的な生活習慣（挨拶、返事、清掃、時間など）、社会集団の一員としての社会性や人間性を身に付けることに重点を置き、いじめ等を許さない誰もが楽しく安心して学んでいける風土を確

立する。

2nd ステージ…　よりよい人間関係を育む「未来の教室５原則」を活かし、新たな学校文化を醸成する自治的能力を身に付け、一人一人の自己存在感、有用感、成就感で心がつながる風土を確立する。

3rd ステージ…　ふるさと栗沢で育んできたことを基盤に、グローバルな視点で未知なるステージで飛躍する姿を膨らませ、仲間と共に「**Well-being**」を一つずつ現実のものとしていく。

１　生徒理解に努め、ふれあいを大切にした心の通う生徒指導の充実

（１）自己存在感（有用感、成就感）を実感できる生徒指導の推進
（２）Q-U 検査の効果的な活用とその他の客観的な資料の活用の充実
（３）正しい判断力と実践力を基盤とする規範意識の育成
（４）よりよい人間関係を育むピア・サポートの考え方を活かした、いじめや不登校、問題行動等の未然防止（リスクマネジメント）に重点を起いた指導の充実
（５）いじめ、問題行動、中１ギャップ等の早期発見と小中全教職員による一致した適切な指導
（６）不登校の子どもたちに対する具体的な対応（問題志向から解決志向へ）
（７）情報化社会への適切な対応（情報モラル教室の活用）

２　自主的・実践的な態度を育てる特別活動の充実

（１）学級活動、ステージ活動及び児童生徒会活動の充実を図るとともに、協働の意義やよりよい人間関係づくりの構築による、自治的能力の向上（児童会・生徒会の連携）
（２）学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深める学校行事の推進（2nd ステージを重点に）

３　考え、議論する道徳指導の充実

（１）小中道徳教育推進教師を中心とした９か年の道徳教育カリキュラム・マネジメント
（２）体験的な学習の推進、指導方法の工夫改善（TT、ゲストティーチャー、ステージ授業など）
（３）小中教員同士の授業参観、交流（水曜１～４校時）による道徳指導の充実

４　総合的な学習の時間の充実（グローカル教育）

（１）栗沢を愛し、自然や環境を大切にする心情や態度の育成
（２）栗沢の歴史、文化、産業などを学び、夢や希望の実現に向けて意欲的に行動する態度の育成
（３）持続可能な世界を創るための、**『くりさわ発 SDGs』**

SDGs　（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）

2015 年９月の国連サミットで採択。**「誰一人取り残さない」(No one will be left behind.)**持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため。2030 年を年限とした目標。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され，地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）な考えから取り組まれている内容。

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

～健やかな体の育成～

≪客観的数値から見取れる子どもの実態≫全国学力・学習状況調査　児童生徒質問紙から

１：そう思う　２：どちらかといえばそう思う　３：どちらかといえばそう思わない　４：思わない

朝食を食べていますか。						
		1	2	3	4	コメント
6年生	自　校	66.7	20.8	12.5	0	食べてこない数値が高い。学校だより、保護者会などを通して、基本的生活習慣について啓蒙していく必要がある。
	全国平均	84.9	9.5	4.1	1.4	
9年生	自　校	64.9	21.6	5.4	8.1	
	全国平均	79.9	12	5.4	2.7	

毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。						
		1	2	3	4	コメント
6年生	自　校	29.2	54.2	12.5	4.2	家庭学習時間は少なく、ゲーム等に費やす時間が長い結果と連動しており、睡眠時間が確保されていない。
	全国平均	40.7	40.8	15.0	3.4	
9年生	自　校	18.9	54.1	18.9	8.1	
	全国平均	37	42.9	16.3	3.7	

毎日、同じくらいの時間に起きていますか。						
		1	2	3	4	コメント
6年生	自　校	50.0	33.3	12.5	4.2	睡眠時間が確保されていないことより、朝起きられない子どもが多いことが予測されます。上記３点にわたって、家庭生活習慣の大切さを保護者へ啓蒙していきます。
	全国平均	56.8	33.6	7.9	1.7	
9年生	自　校	48.6	45.9	2.7	2.7	
	全国平均	56.8	35.4	6.5	1.2	

【重点目標】

心身ともに逞しい子どもを育成するとともに、生命を尊び、健康で安全な学校生活を送ることができる持続可能で危機に強い教育環境づくりの推進

1st ステージ…規則正しい生活習慣の確立を基盤として、すべての子どもたちが明るく元気に毎日が楽しいと思えるステージ。基礎体力やバランス感覚を養うことができる基礎スポーツの推奨。

2nd ステージ…誰とでも仲良く楽しい学校生活を送ることができるように工夫を凝らした生活を送るステージ。自ら選択し、心身を逞しくさせる部活動に積極的に取り組ませる。

3rd ステージ…温かみに溢れ、有意義な学校生活をすべての子どもたちが送ることができるよう、リーダーシップを発揮するステージ。部活動の取組の集大成として心身ともに充実させる。

１　生命を尊び、自らを律する健康・安全教育の推進

（１）強健な心身を培うスポーツへの参加奨励と指導体制の充実

①部活動の充実及び多様な競技への積極的参加（外部指導者の積極的な活用）

②自主・自律を育むとともに、指導者と児童生徒の心が通い合う心技体のバランスが図られた指導の充実

③部活動の地域移行を視野に入れた学校⇔地域の連携と協力

（２）健康な生活に資する学校保健・安全指導の充実と安全な行動の習慣化

①保健だより、学校だより等を活用しての意識化

②リスクマネジメントの不断の見直しと避難訓練（火災・地震・防犯等）の工夫

学校・栗沢CS・マロンドリーム・地域住民合同一日防災学校の実施

（３）危機管理マニュアルの共通理解と全職員による組織的対応

①危機発生時（クライシスマネジメント）の迅速な行動の徹底

（４）地域・PTA等との協力による地域安全指導の充実

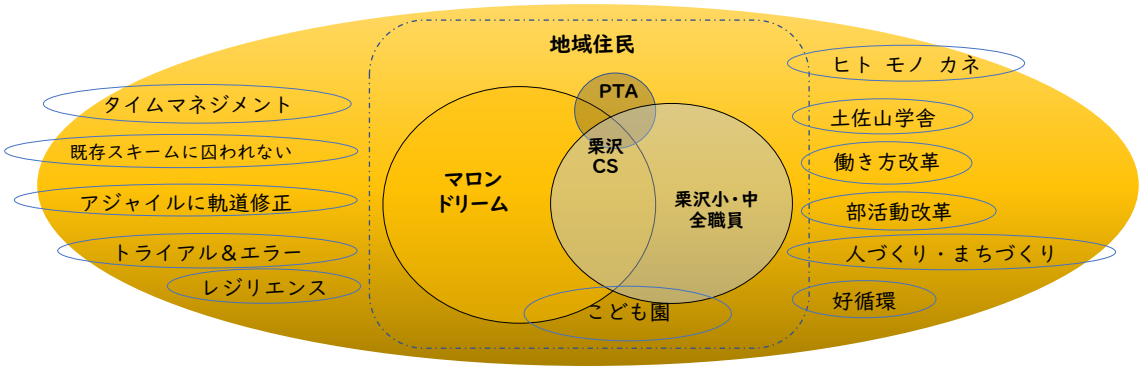
（５）食の指導（食育）、性の指導（ジェンダーレス）、薬物乱用防止、情報モラル等に関する研修の充実

２　豊かで温かみのある教育環境づくりの推進

（１）各種ボランティア活動への積極的参加

（２）学校内外の環境整備活動（クリーン作戦）

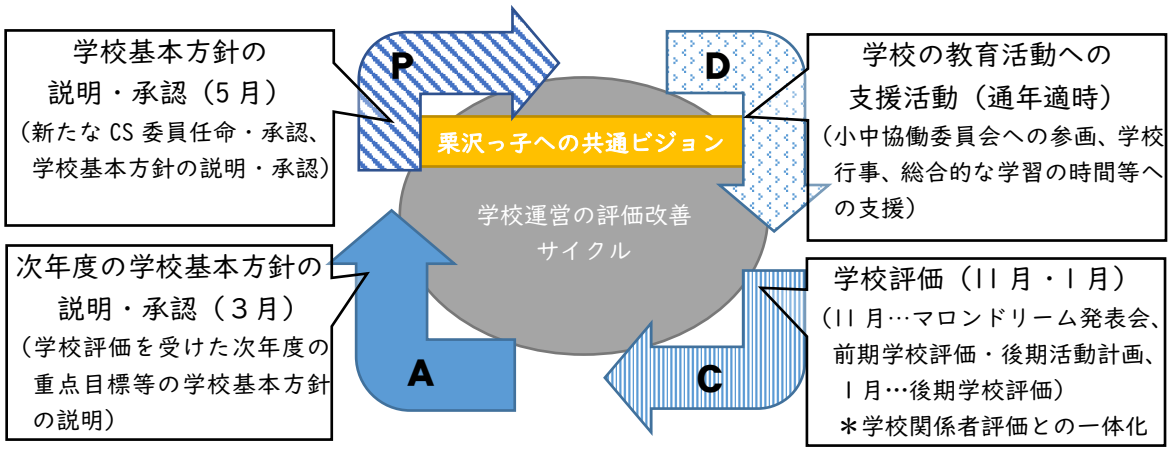
Ⅳ　社会に開かれつながる教育課程カリキュラム・マネジメント



【重点目標】

０歳から 15 歳までの一貫した教育を推進するため、栗沢 CS（学校運営協議会）マロンドリーム（地域学校協働本部）を基軸とした、こども園小中一貫教育の推進

１　栗沢 CS（学校運営協議会）・マロンドリーム（地域学校協働本部）



（１）栗沢 CS（学校運営協議会）組織　＊敬称略

①委員長　　武田　　豊（マロンドリーム）
②副委員長　千場　法美（マロンドリーム）
③委員

こども園…新保　さつ子（こども園長）
保護者…武田　慎吾（PTA 会長）
川岸　雅弘（PTA 副会長）
校区住民…高畠　信雄（くりさわプロモーションクラブ理事長）
中村　良臣（栗沢ロータリークラブ）
近藤　一史（栗沢商工会）
西脇　圭一（栗沢支所長）
工藤　康洋（トッキュウ）
阿部　真也（阿部自動車）
中西　勇人（栗沢農協青年部）
辰田　真弥（住職）
マロンドリーム…武田　　豊
千場　法美
橋谷　功志
坂野　靖子

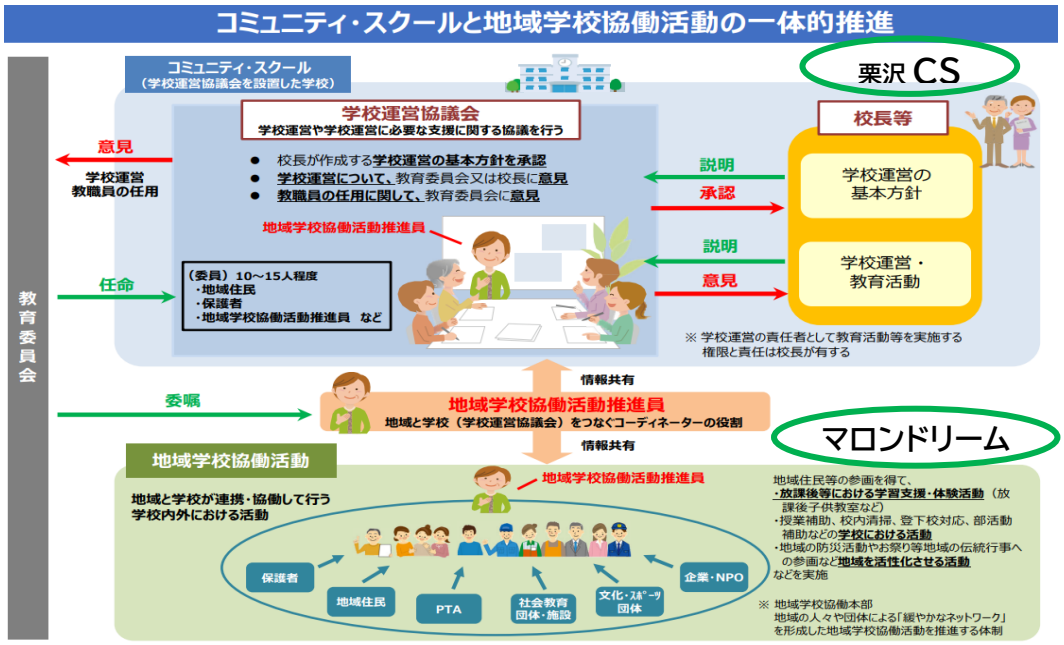
（２）マロンドリーム（地域学校協働本部）組織
①会長　　橋谷　功志
②事務局長　平田　さゆり
③会計　　菊池　亜希

２　学校評価（学校関係者評価）

（１）地域と学校が一体となった学校運営評価改善サイクル
①子ども・保護者・学校・栗沢 CS・マロンドリームが一体となった評価活動
②学校職員と地域（栗沢 CS・マロンドリーム会員）が一体となった校務分掌会議

３　その他

（１）０歳から 15 歳までのこども園・小中一貫教育の推進
（２）高知県土佐山学舎との連携（姉妹校提携）
（３）ふるさと教育（生活科＆総合的な学習の時間）でお世話になった地元の皆さん（令和４年度　順不同・敬称略）
（栗沢小学校）
＊JA くりさわ　＊トッキュウ　＊給食センター　＊丸大ハム　＊疏水ほっかい愛護連絡協議会
＊千場法美・宮川佳彦・白崎郁浩（菜の花栽培）　＊岩見沢市役所　＊岩見沢郷土科学館
＊杉本哲也（砺波町会長）＊遠藤悦史棋士　＊人権擁護委員協議会　＊岩見沢地方法人会
＊岩見沢警察署　＊アイシン工業　＊クラインガルテン　＊興宗寺　＊安国寺　＊栗澤神社
＊栗沢市民センター　＊いわみざわ商工会　＊消防栗沢支署　＊北辻あきら（SDGs）
＊桜井啓輔（ダンス）　＊マヤマックス　＊美流渡コッペ　＊みるとーぶ　＊菊池亜希
＊西脇圭一（栗沢支所長）　＊醤油屋本舗　＊おとん食堂　＊善生レストラン　＊松尾ジンギスカン
＊くらうど　*焼肉かごさん　＊来夢 21　＊かわにし　＊ふじい呉服店　＊いとう商店
＊江藤勲（さつまいも栽培）　＊泉征三郎（樹木医）　*田中博（最上棚田を守る会）
＊空知農業改良普及センター　＊手塚泰象（コンサドーレ北海道スポーツクラブ）
＊佐藤茂司（種芋協力）　＊くりさわ認定こども園　＊千葉いづみ（英語）
（栗沢中学校）
＊地崎農園　＊東井農園　＊アンテナコーヒー　＊くうすけ　＊角　＊いの家　＊焼肉かごさん
＊いちご　＊豊咲　＊くらうど　＊グランエソール　＊山上造園　＊社会福祉法人「福祉村」
＊高柳農園　＊KONDO ワイナリー　＊栗沢福祉会「いちい荘」　＊保健福祉センターふれあい
＊栗沢支所　＊岩見沢市役所　＊岩見沢社会福祉協議会　＊岩見沢市観光協会　＊千葉いづみ（英語）



Ⅴ　働き方改革（業務の適正化を目指して）

１　子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり

（１）授業日数の 210 日程度の確保（授業の平準化）
（２）個別最適な学びの充実（**個別学習計画、学習ログ、到達度評価、Edtech**）
（３）協働的な学びの充実（**STEAM 教育、学び合い学習**）
（４）**小中が一貫した特別支援教育**の確立
（５）栗沢 CS、マロンドリームとの連携

２　教職員が授業に専念できる環境づくり

（１）勤務時間の適正化（定時退勤日の設定強化）
　①　水曜日部活動休止日
　②　土日のいずれか部活動休止日
　③　**部活動地域移行**
　④　カリマネ委員会の充実及び各種会議（職員会議、分掌学年部会等）の精選
　⑤　年休、振替制度等の積極的活用

３　保護者、地域のニーズに応じた環境づくり

（１）栗沢 CS、マロンドリームと連携した学校教育の推進
（２）学校ホームページ、情報共有連絡方法の充実

Ⅵ　経営目標達成のための学校評価

１　学校評価年間計画

（１）ねらい

小中一貫教育の充実に向けて、自己評価・外部評価を通して、義務教育９か年の教育活動を振り返り、より一層の工夫と改善を図る。

	評価計画	栗沢 CS（学校運営協議会）	公表の方法
4	4月　日（　） 第１回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会） ＊学校評価推進の計画	4月　日（　） 第１回栗沢 CS 会議 ・学校経営方針の承認 ・学校評価項目の検討など	学校だより（経営方針の発信）
5			
6	6月　日（　） 第２回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会）		
7			
8			
9	9月　日（　） 第３回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会） ＊評価実施、結果分析		学校だより （前期評価結果及び改善策の公表）
10			
11	11月　日（　） 第４回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会） ＊経営方針を受けて	11月　日（　） 第２回栗沢 CS 会議 ・前期評価結果及び改善策検討	
12			
1		1月　日（　） 第３回栗沢 CS 会議 ・学校関係者評価など	学校だより （評価結果及び改善策の公表）
2	2月　日（　） 第５回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会）		
3		3月　日（　） 第４回栗沢 CS 会議 ・学校関係者評価 ・今年度の反省及び次年度計画	

２　評価項目

（そう思う・だいたいそう思う・あまりそう思わない・まったくそう思わない）文言は対象者（ステージ）により若干変更あり。

	評　価　内　容	対象者	観　　点
（全般）			
1	毎日、学校に行くのが楽しい。	子・保・教	めざす子ども像
2	学校や地域で進んであいさつをしている。	子・保・教・CS	ルール・マナー（あいさつ）
3	交通ルールを守り、安全に気を付け、登下校している。	子・保・教・CS	ルール・マナー（安全）
4	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。	子	ルール・マナー（規範意識）
5	毎日、朝ごはんを食べている。	子	基本的生活習慣
6	家の人と学校での様子を話している。	子・保	家庭生活
7	自分にはよいところがある。	子	自尊感情
8	学校に仲の良い友達がいる。	子	仲間意識
9	学校のきまりや家族との約束を守ろうとしている。	子	規範意識
10	困っている人がいたら助けてあげたいと思う。	子	社会性・人間性
11	学校は、子どもや保護者からの相談に丁寧に対応している。	子・保・教・CS	信頼関係
12	学校は、安全確保に十分に努めている。	子・保・教・CS	安心・安全
13	学校は、学校だよりやブログでわかりやすく説明している。	子・保・　・CS	
（重点目標）			
14	自分が立てた目標に向かって積極的に行動している。	子・保・教・CS	Action
15	より良い生活を送ろうと様々な工夫をしている。	子・保・教・CS	Thinking
16	仲間と協力しながらいろいろなことに取り組んでいる。	子・保・教・CS	Teamwork
（中長期的な基本理念）			
17	栗沢小・中学校で学んで良かったと思う。	子	
（栗沢スタイル）			
18	授業がわかりやすい。	子	小５以上は教科担任制別
19	タブレットを有効に活用している。	子　　教	〃
20	授業中、自分の考えを持つ時間がある。	子　　教	〃
21	考えたことを発言したり、交流したりする時間が十分にある。	子　　教	〃
22	授業の最後に、学習したことを振り返る時間がある。	子　　教	〃
23	未来の教室５原則を意識しながら学習に取り組んでいる。	子　　教	
（学習全般）			
24	総合的な学習の時間（生活科）の授業が楽しい。	子・保・教・CS	
25	SDGs を意識した生活を送っている。	子・保・教・CS	2nd & 3rd
26	昨年よりも家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	子・保・教	
（小中一貫教育）			
27	小中の合同行事は楽しかった。	子・保・教・CS	
28	小中一貫教育について学校はわかりやすく説明している。	子・保・教・CS	

Ⅶ　職員構成等

小学校

職名	STAGE	学年	担　当	氏　名	勤務	G	校務分掌	教科担任制	部　活	備　考
校長				本　川　朋　一	2					
教頭				大　島　恵　一	1					PTA 担当　カリマネ委員
教諭	1	1	担任	石　川　亜　紀	4	学	研修			研修主任　道徳教育推進教師　カリマネ委員
教諭	1	2	担任	松　村　さくら	5	協	小中協働Ⅰ		金管	1st 主任　カリマネ委員
教諭	1	3	担任	乙　丸　真太郎	1	協	小中協働Ⅱ	3.4 年社会	バレー	
教諭	1	4	担任	木　下　賢　二	6	協	教務Ⅱ	3.4 年理科		
教諭	2	5	担任	出　口　昌　文	5	学	教務Ⅲ	5.6 年体育	バレー	
教諭	2	6	担任	坂　本　大　志	3	学	教務Ⅰ	5.6 年理科　2.5.6 年音楽	金管	教務主任　カリマネ委員
教諭	特		情緒担任	齋　藤　浩　子	3	豊	体育・文化			
教諭	特		情緒副担	吉　野　文　康	2	学	児童会		野球	
教諭	特		知的担任	新井田　奈美子	3	豊	生徒指導		野球	
支援員	特		特別支援学級	紙　谷　り　ゑ	2					
教諭	特		ことばの教室	小笠原　早　苗	4	豊	特別支援			特別支援コーディネーター　カリマネ委員
教諭	2		国語専科	池　田　友紀子	1	豊	図書・環境	3.4.5.6 年国語		
中教諭			算数専科	三　國　　薫				6 算数		
中教諭			外国語専科	西　藤　秀　美				6 外国語		
中教諭			外国語専科	久　保　允　人				5 外国語		
時間講師			外国語活動専科	千　葉　いづみ	2			3.4 外国語活動 T2		
養教	1			森　本　　恵	6	豊	保健・給食指導			保健主事
事務職員				野　本　雄　介	1	協	事務			カリマネ委員
ALT				チャールズ・ネルソン	2					
用務員				田　中　　歩	4					
事務補				平　田　さゆり	2					マロンドリーム事務局

中学校

職名	STAGE	学年	担　当	氏　名	勤務	G	校務分掌	教　科	部活	備　考
校長				伊　藤　　聰	2					
教頭				畠　山　泰　之	1					PTA 事務局　小中協働担当
教諭	2	7 年	7A 担任	西　藤　秀　美	2	学	道徳・特活・総合	英語(7.8.9)外国語(6)	バレー	道徳教育推進教師
教諭	2	7 年	7 学年副担	瀬　戸　裕　介	2	学	研修	保体(7.8.9)技術(7.8.9)	野球	研修主任　研究所員　小中カリマネ委員
教諭	2	7 年	7 学年副担	長谷部　晃　一	1	豊	生徒指導Ⅱ	理科(7.8.9) 英語 TT（7）	バレー	中体連理事 生徒指導連絡協議会　小中高連絡協議会
教諭	特	7 年	知的担任	堀　部　雪　江	4	豊	ICT	知的	吹奏楽	校務支援システム担当 校内カリマネ委員
教諭	3	8 年	8A 担任	久　保　允　人	3	協	生徒会	音楽(7.8.9)英語 TT(8.9)外国語(5)	吹奏楽	校内カリマネ委員　校内生徒指導委員 校内推薦委員　小中カリマネ委員
教諭	3	9 年	9A 担任	菅　田　藍　人	5	豊	生徒指導Ⅰ	社会(7.8.9)	野球	3rd 主任　生徒指導主事　校内生徒指導委員長 校内推薦委員
教諭	特	9 年	情緒担任	土　肥　満　広	1	協	小中協働	情緒(9)	野球	小中カリマネ委員
教諭	3	89 年	8.9 学年副担	小野寺　　哲	6	学	教務Ⅰ	国語(7.8.9)		進路指導主事　子ども文化祭実行委員 校内推薦委員長　読書感想文実行委員
教諭	3	89 年	8.9 学年副担	織　田　郁　枝	4	学	教務Ⅱ	家庭(7.8.9)数学(8)数学 TT(7.9)	吹奏楽	校内カリマネ委員長　図書館推進委員
教諭	3	89 年	8.9 学年副担	三　國　　薫	5	学	総務	数学(7.9) 数学 TT(8)算数(6)		教務主任　小中カリマネ委員　校内カリマネ委員 校内推薦委員
教諭	専		美術専科	三　森　彩　美	2			美術(7.8.9)		
養教	2	89 年		永喜多　裕　子	5	豊	保健			保健主事　特支コーディネーター　市特別支援教育推進委員 校内学校保健委員長　校内特別支援教育委員長
事務職員				竹　森　友　哉	1	協	事務			校内カリマネ委員　小中カリマネ委員
ALT				チャールズ・ネルソン						
SC				米　田　真美子	11					
事務補				土　田　美　佳	2		管理			
用務員				小笠原　孝　好	1		管理			

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

≪小中カリマネ委員会≫

委員会名	委　員　長・副委員長	学校種	構　　成　　員	
小中カリマネ委員会 （13）	委員長～ 副委員長～	小学校	確かな学力部主任	坂　本　大　志
			豊かな心と体部主任	小笠原　早　苗
			小中協働部主任	松　村　さくら
			研修主任	石　川　亜　紀
			事務職員	野　本　雄　介
			教頭	大　島　恵　一
		中学校	確かな学力部主任	三　國　　薫
			豊かな心と体部主任	菅　田　藍　人
			小中協働部	土　肥　満　広
			研修主任	瀬　戸　裕　介
			生徒会係（小中協働部主任）	久　保　允　人
			事務職員	竹　森　友　哉
			教頭	畠　山　泰　之

≪栗沢小中協働委員会≫

部　名	部　長	部　　員（☆は各学校の代表者）
確かな学力Ｇ		小（☆坂本大志、木下賢二、出口昌文、石川亜紀） 中（☆三國薫、小野寺哲、織田郁枝、瀬戸裕介、西藤秀美）
豊かな心と体Ｇ		小（☆小笠原早苗、新井田奈美子、斎藤浩子、池田友紀子、森本恵） 中（☆菅田藍人、長谷部晃一、堀部雪江、永喜多裕子）
小中協働Ｇ		小（☆松村さくら、乙丸真太郎、吉野文康、野本雄介） 中（☆久保允人、土肥満広、竹森友哉）

≪栗沢中学校区学校運営協議会（通称：栗沢 CS）≫＊１５名以内

会　長	副会長（1）	委　　員	
武田　豊	千場法美	保護者代表（2）	武田慎吾（PTA 会長）　川岸雅博（PTA 副会長）
		マロンドリーム(4)	武田　豊　千場法美　橋谷功志　坂野靖子
		くりさわ認定こども園(1)	新保さつ子（こども園長）
		地域代表（8）	高畠信雄（くりさわプロモーションクラブ）　中村良臣（栗沢ロータリークラブ） 近藤一史（栗沢町商工会）　西脇圭一（栗沢支所長）　辰田真弥（報恩寺住職） 工藤康洋（トッキュウ）　阿部信也（阿部自動車）　中西勇人（農協青年部）

≪地域学校協働本部（通称：マロンドリーム）≫

会　長	事務局員
橋谷功志	平田さゆり　菊池亜希

≪PTA 組織≫　事務局長：畠山　泰之（中教頭）

会　長	武田　慎吾
副会長	川岸　雅博
副会長	松永　有平
副会長	川幡　拓也
監　査	桑谷　秀之
監　査	椎名　俊文

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

≪小特別委員会≫

校内カリマネ委員会	委員長～坂本　大志（教務主任）	確かな学力部主任	坂　本　大　志
		豊かな心と体部主任	小笠原　早　苗
		小中協働部主任	松　村　さくら
		研修主任	石　川　亜　紀
		事務職員	野　本　雄　介
		教頭	大　島　恵　一
子ども支援委員会	委員長～小笠原　早苗 （特別支援教育コーディネーター）	特別支援コーディネーター	小笠原　早　苗
		該当学級担任	
		養護教諭	森　本　　恵
		教頭	大　島　恵　一
生徒指導委員会 （いじめ防止対策委員会）	委員長～新井田奈美子 （生徒指導係）	生徒指導	新井田　奈美子
		該当学級担任	
		該当ステージ主任	
		養護教諭	森　本　　恵
		教頭	大　島　恵　一
学校保健委員会（４）	委員長～森本　恵（保健主事）	保健主事	森　本　　恵
		教頭	大　島　恵　一
		校長	本　川　朋　一
		学校医	

≪児童会・常任委員会担当≫児童会係担当：吉野文康

三役会		体育委員会	
代表委員会		放送委員会	
学級委員長会議		保健委員会	
文化委員会		図書委員会	

≪校外特別委員会担当≫

道徳教育推進委員	石川亜紀
教育研究所所員	石川亜紀
生徒指導連絡協議会委員・小中高連絡協議会委員	新井田奈美子
校務支援システム担当者	出口昌文
遠隔学習・情報教育推進委員	池田友紀子
読書感想文実行委員	池田友紀子
図書館推進委員	池田友紀子
子ども文化祭実行委員	池田友紀子
岩見沢市特別支援教育推進委員	小笠原早苗
社会科副読本	新井田奈美子

≪中特別委員会≫

校内カリマネ委員会（７）	委員長～　織　田　郁　枝（教務Ⅱ）	確かな学力部主任	三　國　　薫
		豊かな心と体部主任	堀　部　雪　江
		小中協働部主任	久　保　允　人
		研修主任	瀬　戸　裕　介
		事務職員	竹　森　友　哉
		教頭	畠　山　泰　之
生徒指導委員会（６）	委員長～　菅　田　藍　人（生徒指導係）	７年部	西　藤　秀　美
		8.9年部	久　保　允　人
		特別支援学級	土　肥　満　広
		養護教諭	永喜多　裕　子
		教頭	畠　山　泰　之
特別支援教育委員会（３）	委員長～　永喜多　裕　子（特別支援コーディネーター）	特別支援学級	堀　部　雪　江
		教頭	畠　山　泰　之
学校保健委員会（５）	委員長～　永喜多　裕子（保健主事）	７年部	長谷部　晃　一
		8.9年部	三　國　　薫
		教頭	畠　山　泰　之
		学校医	
校内推薦委員会（４）	委員長～　小野寺　　哲（進路主事）	9年担任	菅　田　藍　人
		9年副担	三　國　　薫
		教頭	畠　山　泰　之

≪生徒会書記局・常任委員会担当≫生徒会係担当：

書記局	☆久保　西藤	保　体	☆瀬戸　永喜多
学　習	☆織田　三國	放　送	☆堀部　小野寺　土肥
生　活	☆菅田　長谷部		

≪校外特別委員会担当≫

中体連理事	長谷部　晃　一
道徳教育推進委員	西　藤　秀　美
教育研究所所員	瀬　戸　裕　介
生徒指導連絡協議会委員・小中高連絡協議会委員	長谷部　晃　一
校務支援システム担当者	堀　部　雪　江
読書感想文実行委員	小野寺　　哲
図書館推進委員	織　田　郁　枝
子ども文化祭実行委員	小野寺　　哲
岩見沢市特別支援教育推進委員	永喜多　裕　子
特別支援学級設置学校協議会委員	堀　部　雪　江
岩見沢市手をつなぐ育成会委員	土　肥　満　広

令和５年度　栗沢小・中学校　校務分掌・学年部業務等内容
（小学校）

【教頭】管理一般、職員の勤務、校務の整理、各種会議の統括、学校沿革史、学校防火管理者、スクールバスに係る事務、PTA 事務局、同窓会事務局、調査物・研究、報告書関係、各種特別委員、栗沢 CS 事務局長		
確かな学力グループ　「未来のトビラを拓く」カリキュラム・マネジメント		
教務Ⅰ係 「教育活動を運営する係」	**「学校経営」カリキュラム・マネジメント** 教育課程（編成・実施・評価）管理、日課、儀式的行事、学校評価	坂本 教務主任
教務Ⅱ係 「教育活動を運営する係」	教務事務（知能・学力検査・学校経営案・授業参観と懇談、見学・修学旅行、教材教具の管理、クラブ、学級写真）、教育実習、補欠授業	木下
教務Ⅲ係 「教育活動を運営する係」	校務支援システムに関わる業務（学籍、指導要録、通知表、授業時数管理）、その他校内 ICT 関係（含日報）の統括、その他視聴覚機器等の管理	出口
研修係 「各種研究活動をつなげる係」	**「未来のトビラを拓く」カリキュラム・マネジメント** ワークショップ型研修企画、「栗沢スタイル」「子どもとつくる授業」の推進、道徳教育に関する業務	石川 研修主任　道徳教育推進教師
豊かな心と体グループ　「豊かな心と体」カリキュラム・マネジメント		
生徒指導係 「生活のきまり等規律に関する係」	校内外生徒指導の充実、安全指導（交通安全教室、防犯教室、集団下校など）	新井田 生徒指導主事
体育・文化係 「体育・文化的行事を推進する係」	水泳学習、マラソン大会、スキー学習、遠足、体育用具の管理、体力テスト、学習発表会	齋藤
図書・環境 「学校図書館を運営する係」	学校図書館運営、図書管理、読書指導、岩見沢市立図書館との連携、市読書感想文コンクール、教材園、作品展、校内展示、作品募集	池田
特別支援教育 「特別支援教育を推進する係」	特別支援教育の推進、子ども支援委員会、放課後教室マロン、障がい理解教育	小笠原 特別支援コーディネーター
保健・給食指導係 「安全安心に関する係」	保健業務、保健室運営管理、給食指導運営管理、校内外清掃指導	森本 保健主事
小中協働グループ　「チーム学校」カリキュラム・マネジメント		
小中協働Ⅰ係 「小中一貫教育を推進する係」	小中協働委員会企画運営、総合的な学習の時間の調整統括	松村
小中協働Ⅱ係 「こども園や地域との連携を推進する係」	栗沢認定こども園等との連携（含一日入学、幼小引継）、ブログ作成、小中合同運動会の企画立案	乙丸
児童会係 「児童の自主的活動を支える係」	児童会の指導、児童生徒会に関すること、SDGs の取組など	吉野
事務係 「ヒト、モノ、財で学校を支える係」	**「ヒト、モノ、財」カリキュラム・マネジメント** 学校財政財務、庶務（学籍事務、就学援助、道費処理、福利厚生）給食事務（会計）、文書管理、施設設備管理	野本
ステージグループ　「ステージ経営」カリキュラム・マネジメント		
ステージ主任 「9か年の教育活動をつなげる係」	ステージ担任制経営統括（1st）、ステージ事務（ステージ諸行事、参観日、教育相談等）の企画・運営、小中 9 年間を見据えた学校教育活動の在り方	1st 松村 2nd 坂本 3rd 菅田

（中学校）

【教頭】管理一般、職員の勤務、校務の整理、各種会議の統括、学校沿革史、学校防火管理者、スクールバスに係る事務、PTA 事務局、同窓会事務局、調査物・研究、報告書関係、各種特別委員、栗沢 CS 事務局長、一斉同報メール、ブログ管理		
確かな学力グループ　未来のトビラを拓く　カリキュラム・マネジメント		
総務係 「小・中学校の全教育活動をつなげる係」	**「学校経営」カリキュラム・マネジメント**　小中教育課程（編成・運営・評価）管理、月行事管理、小中カリマネ企画運営、学校評価、儀式的行事、旅行的行事、学習生活ガイダンスの企画運営、二者懇談、三者懇談の案内・調整	三國 教務主任
教務Ｉ係 「教育活動を運営する係」	2nd ＆ 3rd の教科担任制、乗り入れ授業を含めた日課、授業時間管理、各教科等の年間指導時数の確保調整、授業変更及び補欠の調整、チャイム調整、教科書、教師用指導書の取りまとめ、配布と回収、参観日の案内発送、学力・NRT テスト、QU テストの発注、入学説明会の学習に関する内容の作成及び説明、進路業務	小野寺
教務２係 「教育活動を運営する係」	指導要録、出席簿、通知表の管理（更新）、各種テストの成績処理、校務支援システムに関わる業務（ICT 係と連携）、学校図書館の運営、図書管理、市立図書館との連携、校外作品募集の参加案内集約	織田
研修係 「研修活動を取り仕切る係」	**「未来のトビラを拓く」カリキュラム・マネジメント**　ワークショップ型研修企画運営、小中合同研究、各種研究会の参加案内集約、各種学力検査の分析、学習ガイドブックの運用・改訂、研修図書、小中教育課程（編成・運営・評価）管理	瀬戸
道徳・特活・総合係 「道徳･特活･総合を取り仕切る係」	道徳教育に関する研修、道徳家年間指導計画の作成及び改善、道徳科学習指導案の集約管理、特別活動年間指導計画の作成及び改善、ピア・サポートに関する授業の企画・運営・評価管理、進路指導年間指導計画の作成及び改善、総合的な学習の時間の統括管理	西藤 道徳教育推進教師
豊かな心と体グループ　「豊かな心と体」カリキュラム・マネジメント		
生徒指導Ｉ係 「生活のきまり等規律に関する係」	校内生徒指導、校内生徒指導委員会企画運営、いじめ、不登校、QU アンケート全般、教育相談企画運営、	菅田 生徒指導主事
生徒指導２係 「校外生活、部活動に関する係」	校外生徒指導業務、交通安全指導、避難訓練の企画・運営、中体連に関する企画運営、部の設置と活動計画の整備、ＰＴＡ部活動後援会費に関する業務	長谷部
ICT 係 「情報教育を取り仕切る係」	校務支援システムに関わる業務、ICT 機器の管理活用、ICT 教材や視聴覚室等の管理運営、生徒・教職員のアカウントやパスワードの管理、タブレットの年度更新業務、ホームページの管理（教頭と連携）、校内放送の企画運営、チャレンジテスト（教頭と連携）	堀部
保健係 「児童生徒の 安心･安全に関する係」	各種検診検査、学校医他各種医療機関との連絡調整、日本体育・学校保健センター業務、学校環境衛生関係業務、保健指導の企画推進、学校安全保健計画の計画推進、保健だより、保健室経営、給食に関わる業務、清掃に関わる業務、 その他養護に関わる業務	永喜多 保健主事 特支コーディネーター
小中協働グループ　「チーム学校」カリキュラム・マネジメント		
小中協働係 「小中一貫教育を推進する係」	小中協働委員会の計画運営、小中一貫教育や小中行事の企画運営調整、小中一貫教育＆義務教育学校に関する研究、キャリア教育年間指導計画の作成及び改善（キャリアパスポートの作成･管理）、入学説明会、マロンドリームとの企画運営調整、その他小中一貫教育に関わる業務、ＣＳ担当	土肥
生徒会係 「児童生徒の自主的活動を支える係」	生徒会各種行事の企画運営評価管理、生徒会活動年間指導計画、書記局の運営、生徒総会、選挙管理指導、生徒会予算執行、書記局だより、児童生徒会の連携企画、体育的行事の企画運営	久保
事務係 「ヒト、モノ、財で学校を支える係」	**「ヒト、モノ、財」カリキュラム・マネジメント** 学校財政財務、庶務（学籍事務、就学援助、道費処理、福利厚生）給食事務（会計）PTA 会計など	竹森
ステージグループ　「ステージ経営」カリキュラム・マネジメント		
ステージ主任 **「９か年の教育活動をつなげる係」**	ステージ経営統括、ステージ事務（ステージ諸行事、参観日、教育相談等）の企画・運営、小中９年間を見据えた学校教育活動の在り方	1st 松村 2nd 坂本 3rd 菅田

≪週日課表≫

	小学校		中学校	
	月火木金	水	月火木金	水
職員出勤	～　８：０５		～　８：１０	
職員打ち合わせ	８：０５　～　８：１５		８：１０　～　８：２０	
児童生徒登校	～　８：１５		～　８：２０	
朝自習・朝読書	８：１５　～　８：２５		～　８：２０	
朝学活	８：２５　～　８：３５		８：２０　～　８：３０	
学習準備・移動			８：３０　～　８：３５	
１校時	８：３５　～　９：２０		８：３５　～　９：２５	
２校時	９：２５　～　１０：１０		９：３５　～　１０：２５	
中休み	１０：１０　～　１０：３０			
３校時	１０：３５　～　１１：２０		１０：３５　～　１１：２５	
４校時	１１：２５　～　１２：１０		１１：３５　～　１２：２５	
給食	１２：１０　～　１２：４５		１２：２５　～　１２：５５	
片付け・移動	１２：４５　～　１２：５５			
清掃	１２：５５　～　１３：１０		１２：５５　～　１３：１０	
昼休み	１３：１０　～　１３：２５		１３：１０　～　１３：２５	
学習準備・移動	１３：２５　～　１３：３０		１３：２５　～　１３：３０	
５校時	１３：３０　～　１４：１５		１３：３０　～　１４：２０	
６校時	１４：２０～１５：０５		１４：３０～１５：２０	
帰りの会	１５：０５～１５：１５	１４：１５～１４：２５	１５：２０～１５：３０	１４：２０～１４：３０
児童生徒下校	１５：２０	１４：３０	１５：３５	１４：３５
職員休憩時間	１５：４５　～１６：３０		１５：４５　～　１６：３０	
職員退勤	１６：３５		１６：４０	
スクールバス		５時間バス　１４：３５		５時間バス　１４：４０
	６時間バス１５：４０		６時間バス１５：４５	
	部活便　　１７：５５		部活便　　１８：００	

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

≪週時間割（基本形）**≫**＊水曜日は定時退勤日・部活動休止日とする。

小学校

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	＊道	○	○
3	○	○	＊道	○	○
4	○	○	＊道	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	会議等	○	児・ク

中学校

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	＊道	○	○
3	○	○	＊道	○	○
4	○	○	＊道	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	会議等	○	学活

○～教科、総合的な学習の時間
＊～学年をずらして道徳を実施
（他学年の授業以外の教職員は道徳を参観）

≪各教科等の授業時数≫

小学校　黄色は教科担任制

教科等		必修教科									道徳科	学級活動	総合的な学習の時間	外国語活動	外国語	総授業時数
学年・週		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
1	年間時数	306	－	136	－	102	68	68	－	102	34	34	－	－	－	850
	週	8.7	－	3.9	－	2.9	1.9	1.9	－	2.9	0.9	0.9	－	－	－	24.3
2	年間時数	315	－	175	－	105	70	70	－	105	35	35	－	－	－	910
	週	9	－	5	－	3	2	2	－	3	1	1	－	－	－	26
3	年間時数	245	70	175	90	－	60	60	－	105	35	35	70	35	－	980
	週	7	2	5	2.6	－	1.7	1.7	－	3	1	1	2	1	－	28
4	年間時数	245	90	175	105	－	60	60	－	105	35	35	70	35	－	1015
	週	7	2.6	5	3	－	1.7	1.7	－	3	1	1	2	1	－	29
5	年間時数	175	100	175	105	－	50	50	60	90	35	35	70	－	70	1015
	週	5	2.9	5	3	－	1.4	1.4	1.7	2.6	1	1	2	－	2	29
6	年間時数	175	105	175	105	－	50	50	55	90	35	35	70	－	70	1015
	週	5	3	5	3	－	1.4	1.4	1.6	2.6	1	1	2	－	2	29

中学校

教科等		必修教科									道徳科	学級活動	総合的な学習の時間	総授業時数
学年・週		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	外国語				
7	年間時数	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
	週	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
8	年間時数	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
	週	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
9	年間時数	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
	週	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

≪実授業日数≫

小学校（６年生）

学　期	前　　期						後　　期					
始業式	４月　６日（木）						１０月　２日（月）					
終業式（修了式）	９月２９日（金）						３月２５日（月）					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日数	１７	２０	２１	１４	１１	１９	２０	２０	１７	１０	１９	１４
計	１０２日						１００日					
	２０２日											

＊入学式　４月　６日（木）　　卒業証書授与式　３月１９日（日）

中学校（９年生）

学　期	前　　期						後　　期					
始業式	４月　６日（木）						１０月　２日（月）					
終業式（修了式）	９月２９日（金）						３月２５日（月）					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日数	１７	１９	２２	１４	１１	１９	２０	２０	１７	１０	１９	８
計	１０２日						９４日					
	１９６日											

＊入学式　４月　６日（木）　　卒業証書授与式　３月１２日（日）

≪休業日≫

	小学校	中学校
学年始休業日	４月　１日（土）　～　４月　５日（水）	
夏季休業日	７月２２日（土）　～　８月１６日（水）	
冬季休業日	１２月２３日（土）　～　１月１５日（月）	
学年末休業日	３月２６日（火）　～　３月３１日（日）	

≪学校閉庁日≫小中共通

夏季休業期間	８月１０日（木）・１４日（月）・１５日（火）	３日間
冬季休業期間	１２月２９日（金）～　１月　３日（水）	６日間

≪小中学校行事等≫

＊巻末　年間スケジュール表参照

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校『いじめ防止基本方針』

【いじめの定義】

いじめ”とは、『当該児童生徒が、一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）を受けたことにより、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。』なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

【いじめの基本認識】

●いじめは、人間として絶対に許されないという強い認識に立つこと。
●いじめ問題に対しては、被害者の立場に立った指導を行うこと。
●いじめ問題は学校の在り方が問われる問題であること。
●関係者が一体となって取り組むことが必要であること。
●いじめ問題は家庭教育の在り方に大きく関わる問題であること。

【いじめ防止の基本理念】

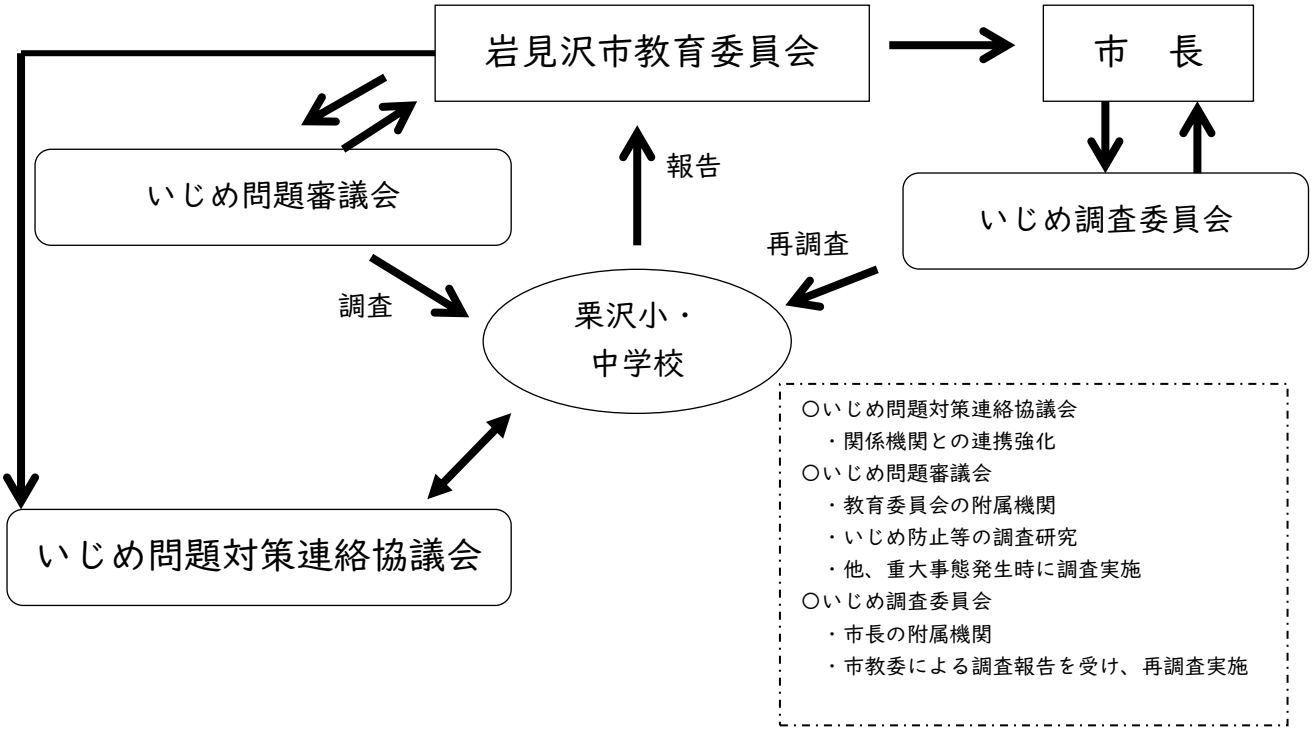
いじめは、いじめを受けた子どもの教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせる恐れがある。

したがって、学校では、すべての子どもがいじめを行わず、及び他の子どもに対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないようにするため、いじめが心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する生徒の理解を深めることを旨として、いじめの防止等のための対策を行う。

【岩見沢市いじめ防止基本方針】

いじめ根絶に向けた取組を学校・家庭・地域・関係機関が連携し、共通認識の下、一体となって進めるために、「岩見沢市いじめ防止基本方針」に則り、学校はいじめ防止等のための対策の基本的な方針や内容を合わせながら迅速な対応を第一として推進する。

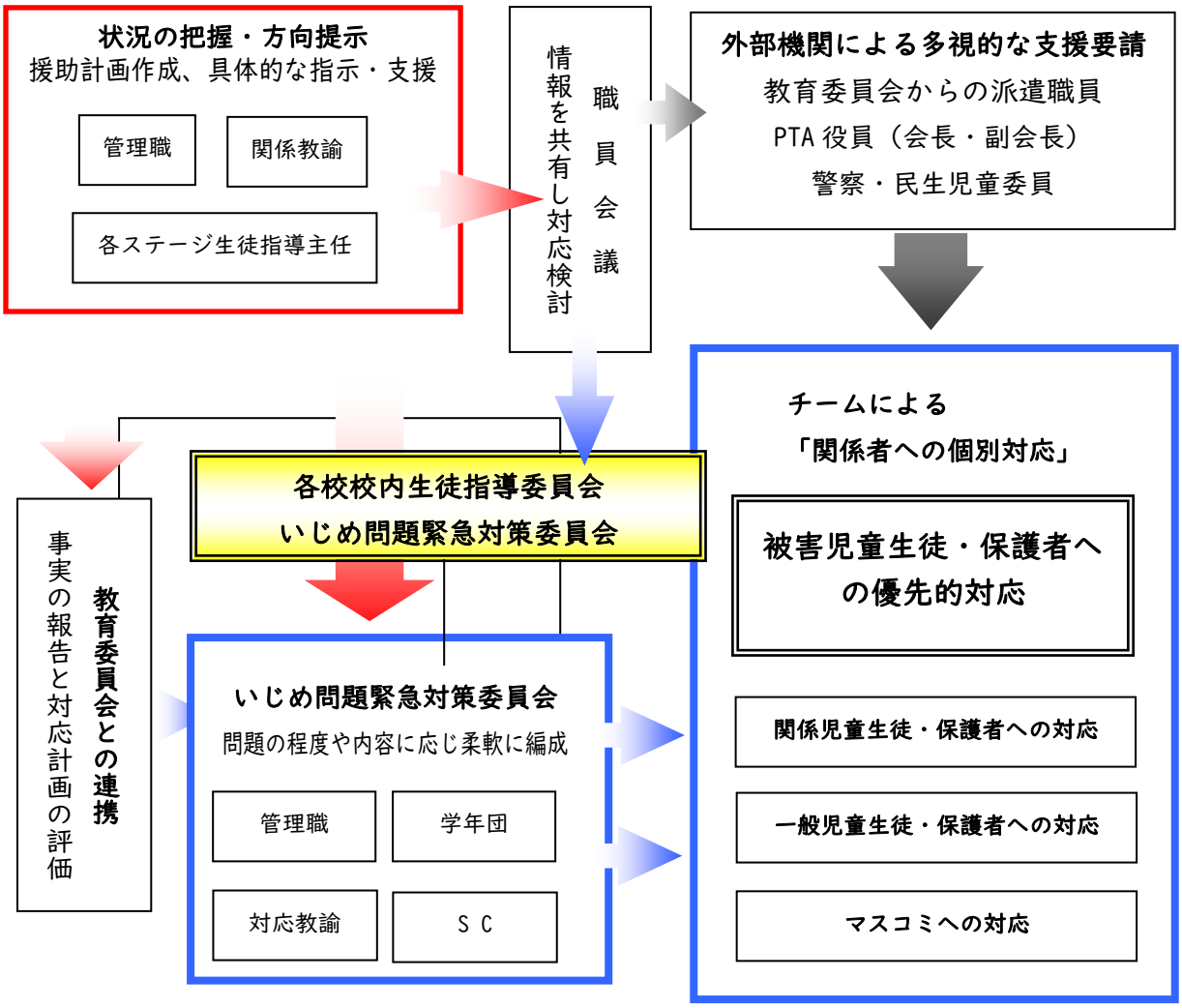
～重大事態発生時の対応～



【校内組織】

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

いじめ防止、いじめの早期発見、いじめの措置に対応する組織を校務分掌に位置付け、各校長を最終的意思決定権者とする。
構成員は、管理職、生徒指導主事、学年部代表、スクールカウンセラー等からなる。必要に応じて該当教職員を加える。



Ⅰ　いじめの予防・防止（リスクマネジメント）

～いじめを生まない土壌づくり～

＝わかる授業づくりの推進＝

●すべての子どもが輝く授業の工夫。

●学習規律を改善し、全教職員の全授業を通して、日常的にコミュニケーション能力の育成を図る。**（ピア・サポートの手法）**
●生徒指導の観点からも教職員同士が授業を参観し合い、子ども理解に努め子どもが意欲的に授業に参加する授業改善に取り組む。
●子どもによる授業評価を教職員が交流し、子ども理解を図る。

＝道徳教育の充実＝

●道徳科の時間を要として、未発達な考え方や道徳的判断力の低さから起こり得る「いじめ」を未然に防止する。
●いじめを「しない・されない・許さない」心情や態度を、全教育活動を通じて育成する。
●子どもが心を揺さぶられる道徳的価値の高い資料を通して、人としての「気高さ」「心遣い」「やさしさ」等に触れることにより、自分自身の生活や行動を省み、いじめを抑止する。

＝人権教育の充実＝

●いじめは、相手の「基本的人権を脅かす行為であり、人間として許されるものではない」ことを子どもに理解させる。
●子供が人を思いやれることができるよう、人権教育の基盤である生命尊重の精神や人権感覚を育むとともに、人権意識の高揚を図る。

＝体験活動の充実＝（総合的な時間やキャリア教育の時間を通して）

●子供が他者や社会、自然との直接的な関わりの中で自己と向き合うことで、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心に自らが気付き、発見し、体得する。
●福祉体験やボランティア体験、就業体験等、発達段階に応じた体験活動を体系的に展開し、教育活動に取り入れる。

＝コミュニケーション活動を重視した特別活動の充実＝

●ピア・サポートの手法を活かした日々の授業をはじめとする学校生活のあらゆる場面において他者と関わる機会や社会体験を取

り入れる。
●子どもが、他者の痛みや感情を共感的に受容するための想像力や感受性を身に付け、対等で豊かな人間関係を築くための具体的なピア・サポートプログラムを教育活動に取り入れる。
＝小中協働委員会での交流＝
●**栗沢小・中協働委員会における児童生徒の実態交流**を通して、一貫性のある生徒指導の充実を図る。
＝保護者や地域の方への働きかけ＝
●授業参観や保護者懇談会の開催、学校・学年だより等による広報活動により、いじめ防止対策や対応についての啓発を行う。
●ＰＴＡの各種会議や保護者会等において、いじめの実態や指導方針などの情報を提供し、意見交換する場を設ける。
●コミュニティ・スクール（栗沢 CS）で、意見交換する場を設ける。
●SNS 等によるいじめについて、保護者に広く啓発して家庭での目配りを依頼する。

２　いじめの早期発見（クライシスマネジメント）

～小さな変化に対する敏感な気付き～

＝日々の観察＝
●教職員が生徒と共に過ごす機会を積極的に設けることを心掛け、いじめの早期発見を図る。
●休み時間や昼休み、放課後の雑談等の機会に、子どもの様子に目を配り、**「子どもがいるところには、教職員がいる」**ことを目指す。
●いじめの相談の窓口があることを知らせる掲示をし、相談しやすい環境づくりに努める。
●子どもの成長の発達段階を考慮し、丁寧で継続した対応を実施する。
●**ステージを中心に**教職員は、子どもが形成するグループやそのグループ内の人間関係の把握に努める。
●気になる言動を察知した場合、適切な指導を行い、人間関係の修復にあたる。
＝教育相談（学校カウンセリング）の実施
●教職員と子どもの信頼関係を形成する。
●日常生活の中での教職員の声かけ等、子どもが日頃から気軽に相談できる環境をつくる。
●定期的にアンケートを実施し、必要に応じて教育相談を実施する。
＝いじめ実態調査アンケート＝
●アンケートは発見の手立ての一つであると認識した上で、年２回定期的に実施し、実態に応じて随時実施もする。

３　いじめに対する措置（ナレッジマネジメント）

～迅速かつ組織的に対応～

＝正確な実態把握＝
●当事者双方、周りの子どもから、個々に聴き取り、記録する。
●関係教職員との情報を共有し、事案を正確に把握する。
＝指導体制、方針決定＝
●教職員全員で共通理解を図り、指導のねらいを明確にする。
●指導体制を整え、対応する教職員の役割分担をする。
●教育委員会、関係機関との連絡調整を行う。
＝子どもへの指導、支援＝
●いじめられた子どもの保護、心配や不安を取り除く。
●いじめた子どもに対して、相手の苦しみや痛みに思いを寄せる指導を十分に行うとともに、「いじめは決して許される行為ではない」という人権意識を持たせる。
●いじめた子どもに対しての指導は勿論であるが、犯した罪に関しては毅然と対応する。
＝保護者との連携＝
●いじめ事案解消のための具体的な対策について説明する。
●インターネットによるいじめの発見などについて保護者の協力を求め、学校との指導連携について協議する。
●授業参観日や保護者懇談会などを通じて、保護者との連携を深める。

●**栗沢 CS（学校運営協議会）を通じて**、保護者・地域との連携を深める。
＝再発防止＝

●継続的に指導・支援を行う。
●カウンセラー等を活用し、子どもの心のケアを図る。
●**心の教育の充実**を図り、誰もが大切にされる学級運営を行う。
●いじめ防止の重要性を啓発する活動を推進する。
＝全体指導計画の作成と実践的校内研修の充実
●生徒理解に関する研修、指導援助に関する研修を実施する。
●各分掌の役割を明確化し、日常的な取組を実施する。
【評価】
　いじめ防止等のための対策を取り扱うに当たっては、いじめの事実が隠蔽されず、並びにいじめの実態の把握及びいじめに対する措置が適切に行われるよう、いじめの早期発見、いじめの再発を防止するための取組等について適正に評価を行う。
【評価項目例】
・いじめの方針
・定期的な調査活動
・相談体制
・いじめに関する研修の実施
・外部との連携（栗沢 CS、小中高生徒指導連絡協議会、青少年育成協議会、教育支援センター、警察、児童相談所、民生委員等）

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　学校経営方針

令和５年度　岩見沢市立栗沢小・中学校　道徳教育の全体構造

日本国憲法 法令 教育基本法 学習指導要領 北海道教育目標 空知管内教育推進の重点 岩見沢市教育行政方針	**【中・長期基本理念】** ◇すべての子どもが「栗沢で学んでよかった」 ◇すべての保護者が「栗沢で育ててよかった」 ◇すべての住民が　「栗沢で生きてよかった」 【重点教育目標】 Action 前に踏み出す力　Thinking 考え抜く力　Teamwork チームで働く力	地域や生徒の実態 ・真面目で何事にも一生懸命取り組む子どもが多い。 ・協力的な保護者が多く、積極的である。 ・地域行事も充実しており、教育に対して協力的である。

道　徳　教　育　の　目　標

《令和５年度　本校の道徳教育に関する重点目標》**～考え、議論する道徳の取組～**

強い意志で正しく行動する心を基盤に持ち、新しいことに果敢に挑戦し、思いやりの心と協働の精神を大切にする子どもの育成

重点内容項目
・自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任を持つ態度を育てる。
・それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ態度を育てる。

学　年　別　重　点　内　容　項　目

1st ステージ	2nd ステージ	3rd ステージ
○ ○	○ ○	○ ○

道　徳　科　の　指　導　方　針

◇　小・中道徳教育推進教師が中心となり、義務教育９か年の教育課程の編成・実施・評価管理を構築する。
◇　水曜日２～４校時に小中ともに道徳科を設定し、相互乗り入れ授業を実施していく。
◇　各教科、総合的な学習の時間、特別活動等との関連を図り、それらにおける道徳教育の要となる時間とする。
◇　望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。

ピア・サポートの考え方を生かした好ましい人間関係づくり

各　教　科		特　別　活　動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
国　語	言葉で伝え合う力を高め、人間関係を構築する能力を育てる。	（学級活動） 望ましい人間関係を形成し、節度ある生活をしようとする態度を養う。 （児童生徒会活動） 自己の責任を果たすとともに、より良い学校づくりを目指す態度を養う。 （学校行事） 集団の一員として、進んで学校生活の充実に努めようとする態度を養う。	課題を探究する体験的な学習活動を通して、主体的に判断したり、粘り強く考え解決したりする資質や能力を育むとともに、自己の目標を実現しようとする態度を養う。	**（日常的な場面）** 集団で協力する自主的・自発的な活動を通して責任感、やり抜く心、公共心、公徳心、集団の一員としての自覚を育成する。 **（教室や校舎等環境）** 学校生活の向上を図る情報の提示等によって豊かな情操を育成する。
社　会	集団や社会の一員として主体的に生きる態度を育てる。			
算数・数学	状況を捉え適切に判断する能力を育てる。			
生活・理科	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。			
音　楽	美しいものや崇高なものを尊重する態度を養う。			
図工・美術	美しいものや崇高なものを尊重する態度を養う。			
保健体育	自分の生活や生き方を見つめる態度を養う。			
技術・家庭	進んで生活を工夫し創造しようとする態度を養い、家族への敬愛の念を深める。			
外国語活動 外国語 英語	国際的視野にたって、世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を高める。			

家庭・地域との連携	こども園との連携	高校との連携
栗沢 CS やマロンドリームとの連携を深め、地域の方々をゲストティーチャーとして招聘し、幅広い道徳教育の充実を図る。	こども園との合同行事、保育実習等を通して相互連携協力を推進していく。	上級学校訪問等を実施し、高１クライシス等を起こさせない連携協力を図っていく。